

2014年アイシンさわやかふれあい講座

ボランティアデビューにオススメです！

地域でいつまでも元気で過ごせるように～介護予防と回想法～ (全3回)

同講座は、アイシン精機㈱の後援で、ボランティア初心者の方にボランティアデビューを後押しさせていただく講座として毎年開催しています。

今回は、介護予防と回想法（昔懐かしい生活用品などを使って、経験した事を楽しみつつ皆で語り合い、脳を活性化する方法）を取り上げます。高浜でそれぞれの持っている力を活かしながら、誰もが安心してずっと生活できるよう、正しい知識を身につけ、日常生活や地域の活動に役立てましょう！



◆8月23日(土) 13:00～16:30 「介護予防編」

	内 容	講 師	会 場
講義	介護予防とは	高浜市保健師	いきいき広場
実技	介護予防のレクリエーション	村松美由紀氏 (高浜市「気軽に体操教室」講師/機能改善体操指導員)	

◆9月20日(土) 13:00～16:30 「認知症編」

	内 容	講 師	会 場
講義	認知症とは	高浜市保健師	いきいき広場
講義・実技	回想法の概要と体験	来島修志氏 (日本福祉大学健康科学部助教)	
実技	三河弁(じゃん・だら・りん)を使ったレクリエーション	ボランティアグループ 「じゃんだらりんて遊ぼまい」	

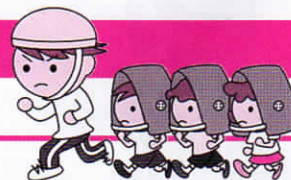
◆10月 「宅老所へ行く編」

	内 容	講 師	会 場
実技	宅老所を訪問しよう ～学んだ事をまず実践！～	グループに分かれ、宅老所等でレクリエーション活動を実践します	市内の宅老所

【定 員】25名 【参加費】無料 【申込締切】8月8日(金)

碧海5市(碧南・刈谷・安城・知立・高浜市)社会福祉協議会による

講演会 『地域における災害ボランティアセンター』



【講 師】野尻 紀恵氏

日本福祉大学准教授/日本福祉大学災害ボランティアセンター長

神戸大学卒業後、神戸常盤女子高等学校教諭のときに阪神淡路大震災を経験。

3. 11東日本大震災では、早期に宮城県亘理町の災害ボランティアセンターへ活動支援に入られました。被災地ボランティアセンターの実際の様子や、地域における災害ボランティアセンターの役割について講演をしていただきます。

【日 時】8月2日(土) 10:00～12:00 (9:30開場)

【場 所】高浜市中央公民館3階 (湯山町六丁目7-3)

【定 員】20名 (事前申込の方を優先。7月30日(水)までにお申込いただいた方には防災に役立つ景品を差し上げます)

【参加対象】市内在住・在勤・在学の方

高浜市以外の方は、お近くの在住・在勤・在学の社協へお問合せください

【費 用】無料

※この講座は、「平成26年度碧海5市災害ボランティアコーディネーター養成講座」の一部を公開講座として開催する講演会です。

～講座の申込は、右ページの高浜市社会福祉協議会ボランティアひろばセンターてとてとてへ直接申込～

第5回

WAKU WAKU FESTIVAL in TAKAHAMA 2014

# 高浜市わくわくフェスティバル

◆開催日／11月2日(日) ◆場所／高浜市いきいき広場一帯

今年のテーマは、

## もっとつながれ「話・輪・和」

わくわくフェスティバルは、様々な福祉の場面で活躍される皆さんが、「もっともっと高浜の福祉を知ってほしい、そして良くしていきたい」という思いを込めて開催します。

昭和63年に「高浜市福祉まつり」としてはじまり、平成22年に現在の「わくわくフェスティバル」に引き継がれ開催されてきました。

東日本大震災の復興においては、あらためて「人と人とのつながり」の重要性を思い知らされました。そこで、平成23・24年のわくわくフェスティバルでは、「つながり」をテーマに開催しました。平成25年は、「つながり」をさらに強く、そして上げていくために「もっとつながれ「話・輪・和」」をテーマに、「いっしょに「話」そまい」、「人とのつながりの「輪」」、「皆さんと「和」もう」を進めてきました。

「つながり」は、目に見えてはじめて安心感につながります。もっと多く、深いつながりをこの高浜市に根付かせていくことを願って、平成26年はテーマを継承し進めていきます。



高桑 雄司

(高浜市社会福祉協議会副会長)

### 実行委員長のメッセージ

実行委員長となり、3回目のわくわくフェスティバルを迎えます。

私たち実行委員は、市民、福祉団体、社会福祉施設、ボランティア団体、市、社会福祉協議会からなる17名で、各委員の持ち味を生かし、企画運営をしています。

わくわくフェスティバルは、今年も「もっとつながれ「話・輪・和」」で、昨年以上に、もっともっと、と皆さんとのつながりを広げていきます。

当日は、皆さんで「わ」！と大声で叫び、輪をつくりましょう～！

今年もっと大きな  
つながりの話・輪・和に  
したいなあ～

#### 問合せ先

わくわくフェスティバル実行委員会  
(高浜市社会福祉協議会内 担当 水谷・高木)  
電話：0566-52-2002  
FAX：0566-52-4100



# みんなで権利擁護を考えよう!

## 「認知症」と権利擁護について

### 認知症 って何

認知症は、誰でもおこりうる「脳の病気」です。  
加齢によるもの忘れがひどくなった状態や心の病気と混合されがちですが、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることで、生活するうえで支障が出てくる状態のことをいいます。

### 「老化によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い

	体験したこと	もの忘れの自覚	探し物に対して	日常生活への支援	症状の進行
老化によるもの忘れ	一部を忘れる 例) 朝ご飯のメニュー	ある	(自分で) 努力して見つけようとする	ない	きわめて徐々にしか進行しない
認知症	すべてを忘れている 例) 朝ご飯を食べたこと自体	ない	誰かがとったなどと、他人のせいにすることがある	ある	進行する

認知症によって、判断する力が低下し、その結果、悪徳商法の被害に遭うなど、自分の利益を自分で守れなくなってしまうことがあります。

そんな認知症高齢者のために、人権をはじめとした様々な権利を保護したり、本人に代わってその財産を適切に管理したりするのが「権利擁護」です。つまり、個人が人間としての尊厳をもって生きていくことを生活上の重要な場面でサポートすることです。

こうした支援は、認知症高齢者だけでなく、知的・精神障害者などのうち、判断能力が十分でない人も受けられます。

### 権利擁護支援としては、次のようなものがあります。

#### ◆生活支援員派遣事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う事業です。

★こんなことで困ったら

- ① 福祉サービスの利用の手続きの援助
- ② 日常的な金銭管理の援助
- ③ 通帳・印鑑のお預かり など

#### ◆成年後見制度（法定後見制度）

精神上の障害（知的障害、精神障害、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その人を援助してくれる人を付けてもらう制度です。

★こんなことで困ったら

- ① 年金生活の一人暮らしのおばあちゃんが訪問販売で必要もない高額な商品を買ってしまう
- ② 兄が認知症の母と同居しているが、どうやら兄が勝手に母のお金を使っているらしい
- ③ 寝たきりの祖母からお金の管理を頼まれたため、きちんと祖母のお金の管理をしているにもかかわらず、叔父や叔母からなにかと疑われてしまう

# ちいきふくしを フォトレポート



★取材させて  
ください!

地域へお邪魔し、地域の  
イベントや皆さんの声を  
随時お伝えしていきます。  
ぜひ情報をお寄せせ  
ください。

## 誰もが住みやすく安全・安心で活気のある吉浜へ

吉浜まちづくり協議会では、2007年厚生労働省等がすすめる「認知症高齢者に配慮した道路などの空間整備のモデル調査研究地区」に選ばれてから、認知症への様々な取り組みが進められています。

『折り梅※』の上映をはじめ、幅広い年代が認知症を正しく理解できるように、吉浜まちづくり協議会高齢者生きがいグループを中心とした「ちょいぼけ一座」が、認知症の人をとりまくエピソードを用いて、オリジナルの台本を作成し、演劇による啓発活動に取り組んでいます。

最近では、認知症高齢者Aさんが道に迷ったことをきっかけに、吉浜まちづくり協議会の青パトによる防犯パトロールと連携した見守りをはじめました。また、近所の方に声をかけ、普段から地域で見守りができるように取り組んでいます。

この結果、後日、行き先を見失い吉浜まちづくり協議会の拠点に来たAさんを無事に自宅へ送り届けることができました。

吉浜まちづくり協議会では、これからも「誰もが住みやすく安全・安心で活気のある吉浜」を目指し、吉浜ふれあいプラザを拠点に「回想法」「さわやか歌広場」「健康体操」などの認知症対策事業を進めていくそうです。



※義母が認知症になったことで崩壊しかけた家族が様々な葛藤を経て再生していく様子を描いた映画。

「地域福祉(ちいきふくし)」とは 地域で「安心して暮らしたい」というだれもが持つ願いの実現です。実現の主体は住民のみなさん。

### 宅老所 今日の献立 vol.10

子や孫世代に伝えたい味

## ちらし寿司 (10人以上でどうぞ)

米…一升 酢…1カップ 塩…少々  
砂糖…1カップ (少し甘めの味です)  
具…にんじん、しいたけ、ちくわなどを  
小さめに切り、甘辛く煮て煮汁を切  
っておく)

【作り方】 ご飯が炊けたら、酢・砂糖・塩を混ぜて置いたものを、うちわ等であおぎながら混ぜ合わせ、適当に冷めたら具を混ぜる。

### 【トッピング (お好みで乗せて)】

- ・シーチキン…砂糖、醤油で味付けし、そぼろにする
- ・錦糸卵…卵、片栗粉、砂糖を入れ薄焼き卵を作る
- ・酢レンコン…レンコンを薄く切り、煮て甘酢につける
- ・きゅうり…薄い輪切りにして、塩少々でもみ水気を切る
- ・桜でんぶ…市販のものを使用し、最後にちらす



季節によりふきや  
エンドウ、筍など  
を用意し、四季を  
楽しみましょう。

今回のレシピは…「じい&ばあ」で  
活躍中の紫陽花です。



子どものころに食べた懐かしい、少し甘めのちらし寿司。一口食べると楽しかった祖母の昔話、お母さんの笑顔が思い出されます。決して豪華ではないけれど、祖母や母から教わったこの味を、子どもや孫に伝えていけたら嬉しいです。

# 高浜市の誇り「宅老所ボランティア」

～高浜市が誇る宅老所ボランティアの活動が

全国誌で紹介されます～

広く社会福祉関係者向けに発行されている『月刊福祉』（明治42年全国社会福祉協議会発行）の平成26年8月号「人と人をつなぐ実践」に、宅老所ボランティアの取り組みが紹介されます。



取材に対応した、「なでしこの会」・「たんぽぽ」、「コスモスの会」のメンバー

そもそも宅老所ボランティアとは、平成4年から高浜市と高浜市社会福祉協議会が地域の福祉人材育成を目的に開催した、ホームヘルパー養成研修の仲間が集まり結成されました。

宅老所の開始時は、午前だけの開催で昼食の提供はありませんでした。利用者は、日中独居の高齢者が多く、「一人で昼ごはんを食べていてもおいしくない。」「皆と一緒に食べたい。」という声を受け、「それなら作ろう!」とボランティアが立ち上がりました。そして、現在のボランティアが昼食を作って皆で食卓を囲む、というスタイルが確立されました。

宅老所あつぽの隣にある高浜南部保育園子育て支援センターに来ているお母さん達が、昼食を見て「私たちも食べたいなあ」という声を聞き、一緒に食べ始めました。そのうちに、「家で子どもにも食べさせたい」という声を受け、平成25年からは、市内の親子を対象に「キッチン★なんぶ」を開催し、ざっくばらんな子育て相談の場にもなっています。

現在、活動歴18年を迎えるグループもあり、この長年の功績は高浜市が全国に誇る「福祉でまちづくり」の活動です!

現在、宅老所はボランティアグループとNPO法人の32団体260人が支えてくださっています。

これからも、宅老所を通じた人と人との「つながりの輪」を絶やすことなく、さらに広げていけるよう、ボランティアさんとともに社会福祉協議会は取り組んでいきます。

ボランティアさん、いつもありがとうございます!!

## 第17回 愛知県介護支援専門員実務研修 受講試験について

■試験日 平成26年10月26日(日)

- ・試験案内及び願書の配布期間  
7月31日(木)まで
- ・試験案内及び願書の配布場所  
高浜市いきいき広場2階窓口  
※その他愛知県高齢福祉課、県福祉相談センター地域福祉課、県民生活プラザ、愛知県社会福祉協議会でも配布
- ・願書の受付期間  
7月31日(木)まで
- ・問合せ先  
愛知県社会福祉協議会 福祉人材センター  
介護支援専門員実務研修受講試験係  
電話：052-220-2250(直通)  
※6月30日(月)～10月24日(金)限定

## 善意をありがとうございました

栗原 一幸

公益財団法人 日本郵趣協会あいち支部

八幡町・新田町町内会一同

野間 保正

(50音順、敬称略)

## 高浜市 いちごプラザのお知らせ

0～3歳までの親子を対象にした子育て支援施設です。安心して遊べるプレイルームの開放と、イベントを開催しています。

気軽にあそびにきてください。

■7月～8月のイベント情報(一部)

ゆとりんタイム …ベビーマッサージ、ベビリフレクソロジーなど	7月24日(木)13:00～ 8月21日(木)13:15～ 25日(月)13:30～ 28日(木)13:15～
助産師による 「子どものからだを知ろう」	8月4日(月) 11:00～11:30
園長のお話 …中央保育園園長とのお話し会	8月7日(木) 10:30～11:30
いちごで遊ぼう	8月8日(金) 10:30～11:30
いちごCafé …お母さんが企画するお母さんのための交流の場	調整中 (HPでお知らせします)



プレイルーム



いちごCafé  
(6月のスクラップぶっくんく)

問合せ先

いちごプラザ 電話52-5232  
<http://www.katch.ne.jp/~ichigoplaza/>

# 正 規 職 員 募 集

臨時職員も募集中です  
**介護職員・保育士**  
 ※資格取得中も要相談で可

職 種	採用予定人数	学歴・資格・年齢など
① 一般職	2名程度	昭和51年4月2日以降に生まれた方で、4年制大学を卒業した方、または平成27年3月末日までに卒業見込みの方で、社会福祉士の資格を有する方又は平成27年3月までに取得見込みの方
② 保育士	8名程度	昭和50年4月2日以降に生まれた方で、4年制大学・短期大学（高等専門学校、専修学校の専門課程含む。）を卒業した方、または平成27年3月末日までに卒業見込みの方で、保育士及び幼稚園教諭免許の資格を有する方または平成27年3月までに取得見込みの方
③ 介護職	3名程度	昭和43年4月2日以降に生まれた方で、介護福祉士又は（准）看護師の資格を有する方又は平成27年3月までに取得見込みの方

**【提出書類】** 採用候補者志願書※いきいき広場（3階）窓口にて配布・ホームページからのダウンロード印刷（両面）可  
 卒業（見込）証明書、成績証明書、職務経歴書  
 資格登録又（受験資格取得見込み証明書）

**【受付期間】** 平成26年9月16日（火）～9月26日（金）（祝日・日曜日は除く）

**【受付場所】** 高浜市社会福祉協議会（いきいき広場内）  
 名鉄三河線 三河高浜駅より徒歩1分（受付：月～土 8:30～17:15）

**【試験会場】** 高浜市いきいき広場 3階会議室  
 ・第1次試験 平成26年10月 4日（土）  
 ・第2次試験 平成26年10月19日（日）  
 ※採用時期は、①②平成27年4月1日（予定）、③平成26年12月1日（予定）

職場見学  
 随時受付  
 ※要連絡

**【問合せ先】** 高浜市社会福祉協議会 事務局 電話：0566-52-2002

## 託児所「キッズルーム こころん」

（いきいき広場3階）

社会福祉協議会では、お母さんが安心して介護や保育の現場で活躍をしていただけるように、託児所を整備しています。

必要な時に、必要な時間だけ（1時間単位で）利用できますので、ぜひ、ご利用ください。

◆開所時間 (月～金) 8:00～20:30  
 (土・日・祝日) 8:00～17:00 ※利用には事前予約が必要です。  
 電話 0566-52-9881 (受付：月～金8:00～9:30/11:30～16:30)

広報紙「ふくし」  
 は財源の一部に赤  
 い羽根共同募金配  
 分金を受けて発行  
 しています。



編 集  
 発 行

社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地  
 TEL：0566-52-2002 FAX：0566-52-4100  
 E-mail：shakyo@katch.ne.jp